

## 第5学年星組 木工アートに挑戦！

指導者 小迫 朝子

### 題材目標

- 木の持つよさや特性を感じ取るとともに、材料や道具を用いた経験を生かし、自分の思いを描く世界を材料や道具を適切に使いながら、創造的につくる。
- 自分の思いを表現するためによりよい表現方法を選び、自由自在に切った形の感じから更に表したいことを見付け、工夫して表そうとする。また、自他の作品の造形的なよさや面白さ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深める。
- 木を使った活動に進んで取り組み、試行錯誤しながら自分のイメージする世界を形や色にこだわって表現しようとしている。

全10時間（プロジェクトタイプ×スパイラル型）

### 子どもの姿と支え方

#### Choice（第2時）

既習事項や素材の特性などから自分の思いを表現するための必要な表現方法を選ぶことができるように、考える時間を確保したり、自由に用具や材料を取捨選択できるように環境設定を工夫したりする。

#### Challenge（第1時）

他の素材と比べながら木の特性を感じ取り、イメージを広げて自分なりの目標を持つことができるように、既習事項と繋がる言葉を掛けたり木に触れる時間を十分に確保したりする。

### 今の子ども姿

本学級の子どもは、造形活動への関心が高く、好奇心旺盛である。新しい題材と出合うときには、「やってみたい！」「前の活動が生かせそう！」と目を輝かせる姿が印象的である。3年生の学習で、木と出合い、木の特性を実感し、楽しんで活動をする中でのごぎりなどの道具の使い方も習得してきた。また、平面のものを組み上げる活動を経験して、組む技術も身に付けている。4年生の学習では、彫刻刀を用いて木版画に挑戦し、強弱のある線を楽しそうに彫り進めていた。前題材の発泡スチロールを用いた工作では、道具と素材の特性を生かして、自由自在に切った形に愛着を持ち、いろいろな角度から見て、どんな形に見えるかを考えながら、自分のイメージを生き生きと形に表現していた。どの活動においても、既習の学びを生かして、取り組むことができている。活動をしながら、自然に友達と思いを伝え合い、自分の見方や考え方を広げ、次の自分の活動に繋げていく姿も見られる。本題材を通して、今までの経験を生かし、友達とかかわりながら、よりよい表現方法を探究し、形や色にこだわって、生き生きとそうぞうし続けていくことを願っている。

材料の特性と、今までの経験を生かしたら、木でどんなアートができるのだろう。

### 「学びに向かう力」が涵養されている姿

材料の特性を生かし、そうぞうする力を発揮して、つくり、つくりかえ、つくりながら自分の思いを表現し、見方や感じ方を深めて自分の人生をも彩り豊かにそうぞうしていこうとする前向きな気持ちを持っている姿。

#### Check（第10時）

自他の作品の造形的なよさや面白さなどを感じ取り、自分の見方や考え方を深めることができるように、作品を鑑賞したり、タブレット端末に蓄積しておいた写真を振り返ったりする時間を確保する。

#### Creativity（第6～9時）

木の特性を生かして、自分の思いを表現するためには、どの表現方法を選ばよいかを考え、つくり、つくりかえ、つくる中でよりよい表現を生み出していくことができるように、様々な用具を準備したり、新しい視点となるような表現方法を全体で紹介したりする。

#### Critical Thinking（第5時）

自他の表現方法の違いに気付き、自分の思いをよりよく表現できる方法を考えて、今後の活動に生かすことができるように、自分の表現方法は適していたかを振り返ったり、友達と表現方法について伝え合ったりする時間を確保する。

### 題材構想の意義

本題材では、木を主材料として、今までの経験や材料の特性を生かして、ストーリーを紡ぎながら、自分の思いを表現していく。スチロールや紙など、今までの工作の学習で扱った材料との共通点や相違点などを考えながら、木の特性やよさについて理解し、活動に生かしていくことができるであろう。

木は硬い素材なのにも関わらず、糸鋸を使えば、自由自在に切ることができ、材料同士を組み合わせることで、頑丈な立体物を制作することが可能である。また、マーブリング液や絵の具で着色したり、彫刻刀で彫ったりすることもできる大変魅力的な素材である。

子どもたちは、木の持つ特性を生かして、今までの経験から、「彫る」「塗る」「切る」「削る」という行程をどのような順番で進めていくのか一生懸命考えるであろう。そして、自分の表したい世界を表現する方法を試行錯誤しながら探究していくことを期待する。また、制作の順番が違っても同じ題材でも違った表現が見られるため、自然と友達の作品との共通点や相違点に気が付くことができると考える。友達との自然なかかわり合いを通して、見方や感じ方を深めていくこともできると考え、この題材を構想した。

#### 振り返り

第10時：木工アートの世界に浸る。

第6～9時：木工アートを究める。（本時その2）

第5時：自他の作品を鑑賞して、見方や考え方を深める。

#### 追究

第2～4時：自分の考えた方法で木工アートに挑戦する。

#### 出合い

第1時：木でどんなことができるかを考え、木工アートの可能性を探る。

本時の授業 (7/10)

- 1 日時 令和6年12月2日(月) 10:45~11:30
- 2 場所 図画工作室
- 3 目標 今までの経験と木の特性を生かし、見方や感じ方を広げながら、自分が選んだ表現方法で工夫して表す。

本時における「学びに向かう力」が涵養されている姿

- 今までの経験と木の特性を生かしながら、形や色にこだわって自分の思いを工夫して表現している姿。
- 友達とかかわりながら見方や考え方を広げ、用具の特性を生かして、いろいろな表現方法を試みている姿。

本題材における評価規準

学習活動	1 前時の活動を振り返り、本時の活動の見通しを持つ。	2 木の特性と今までの経験を生かして、自分なりの表現方法で工夫して表す。	友達と自然とかかわり合い、見方や感じ方を広げる。	3 本時の活動を振り返る。	場面	主に評価する 三つの資質・能力【●】
予想される 子どもの意識の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーブリングをして形を自由自在に切ったから、見えてきた模様を彫刻刀で彫ってみようかな。</li> <li>・木でいろいろな形ができたから、今日はそれぞれに色を塗って明るい感じにしたいな。</li> <li>・3年生の組む技術を応用して、今日もっと組みたいな。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の選んだ表現方法で木工アートを究めよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木は、糸のこを使えば自由に切ることができるから、今日は、3年生の時にしたように間をくり抜いてから組んで、面白い形をつくりたいな。</li> <li>・〇〇さんがしていたマーブル模様が不思議な感じで面白いから、パーツによってマーブリングをしてみようかな。</li> <li>・△△さんは、最初に彫刻刀で模様を彫っていたな。彫り方を変えると面白かったから、形によって彫刻刀の種類を変えて彫ってみようかな。</li> </ul> <p><b>Creativity</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と表現方法について話していると、アイデアがたくさん浮かんで、面白い方法を見付けることができたよ。</li> <li>・今までの経験を生かしたら、木によさを引き出してすてきな表現をすることができたよ。</li> </ul>	場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既習の学習と結び付けながら、木の特性について考え、木を使った活動に進んで取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>
指導(○)と評価(●)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時までにつくった作品やロイロノートを振り返る時間を確保することで、本時の活動のイメージを広げて活動に取り組むことができるようにする。</li> <li>○ 子どもが見付けた工夫点を掲示しておくことで、視覚的に振り返ることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもが使ってみたい用具を教師が準備しておくことで、子どもがいろいろな表現方法に挑戦することができるようにする。</li> <li>○ 形や色にこだわりながら、木の特性を生かして自分なりの表現方法を試している作品を近くの子どもに紹介することで、子どもの見方や感じ方を広げることができるようにする。</li> <li>○ 木の特性を生かして、いろいろな表現方法を試して、自分なりの表現方法を模索している姿を受け止め、言葉を掛ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自他の作品を実際に見ながら振り返る時間を設けることで、多様な表現方法を共有し、次の活動への意欲につながるようになるようにする。</li> </ul>	追 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木のよさや特性を感じ取るとともに、材料や道具を用いた経験を生かし、自分の思い描く世界を材料や道具を適切に使いながら、創造的につくろうとしている。 【知識・技能】</li> <li>● 自分の思いを表現するためによりよい表現方法を選び、木を自由自在に切った形の感じから更に表したいことを見付け、工夫して表そうとしている。 【思考・判断・表現】</li> <li>● 工夫点や多様な表現方法などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げたり深めたりして、自分の活動に生かそうとしている。 【思考・判断・表現】</li> <li>● 試行錯誤しながら自分のイメージする世界を楽しんで表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木の特性を生かして、見方や感じ方を広げながら、自分なりの表現方法で工夫して表すことができたか。【様態・作品・ロイロノート】</li> </ul>			振 り 返 り	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木工アートの世界に浸りながら、自他の作品の造形的なよさや面白さ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げたり深めたりしている。 【思考・判断・表現】</li> <li>● 足跡として残していた写真を振り返ることで達成感や充実感を感じ、学んだことを今後の生活に生かしていこうという思いを持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>